

1日目 ニースで文化と美食の旅



© OTM NCA / J. KELAGOPIAN

マティス美術館
& シャガール美術館

郷土料理の魅力に会う
料理のアトリエ



© OTM NCA

2日目 鷺の巣村とぶどう畑

© J.KELAGOPIAN



ヴァンスの町と
ロザリオ礼拝堂

© OTM NCA /
J. KELAGOPIAN



ワインの
テイスティング

3日目 地中海と庭園



エズ村
絶景と香水を楽しむ

© AGENCE MÉDIA H265
/ OTM NCA

海岸沿いをサイクリング



© OTM NCA /
J. KELAGOPIAN

1 日目 ニースで文化と美食の旅

ユネスコ世界遺産・ニースを発見

2021年、ニースの中心部が「ニース、リヴィエラの冬季保養都市」としてユネスコ世界遺産に登録されました。歴史的地区の中心に位置する522ヘクタールの都市群が該当し、有名なプロムナード・デ・ザングレ (Promenade des Anglais) はもちろんのこと、シミエ地区 (Cimiez) やモン・ボロン (Mont-Boron) といった緑豊かな瀟洒な界隈、さまざま地区に点在する洗練されたヴィラや魅力的なホテル、ニースならではのエキゾチックな植生など、2世紀半わたる観光活動によって形成されてきた都市計画や建築物などが含まれています。

ニースの街で建築探訪 — ガイド付きツアーまたは自由な散策でお楽しみください。



OTM NCA/H.LAGARDE



© OTM NCA

必見のマティス美術館 & シャガール美術館

マティス美術館 Musée Matisse

マティス美術館は、シミエの丘の庭園に広がるオリーブ畑に位置する、完全改装された17世紀のジェノヴァ風のヴィラにあります。1917年から1954年、亡くなるまでニースに暮らしたマティスの芸術的進化をたどりましょう。マティス美術館には、アンリ・マティスとその相続人からニース市へ寄贈されたコレクションが収蔵されています。1890年代から晩年のガッシュ紙の切り絵に至るまで、マティスの芸術研究をたどることができる約600点の作品をお楽しみください。

Musée Matisse — 164 Av. des Arènes de Cimiez, 06000 Nice

国立マルク・シャガール美術館 Musée national Marc Chagall

シャガールに特化しテーマ別の展示を行う美術館です。シャガールのもっとも重要な作品である「聖書のメッセージ」の連作17枚を一箇所に集めたいという画家本人の願望から誕生しました。常設コレクションは、マルク・シャガールの公開コレクションとして最多を誇ります。旧約聖書を題材に制作した作品群を中心に構成され、そのほか、400点を超える油彩画、ガッシュ、デッサン、水彩画、パステルなど、世俗的なもの、宗教的なものからインスピレーションを得た数多くの作品を収蔵しています。

Musée national Marc Chagall — Av. Dr Ménard, 06000 Nice 火曜休館

郷土料理の魅力に出会う 料理のアトリエ

料理のアトリエ レ・プチ・ファルシ Les Petits Farcis

ニース旧市街で料理講座に参加しましょう。サレヤ広場 (Cours Saleya) のマルシェで地元の食材を発見し、地元で料理し、地元の名物料理を味わう体験をお楽しみください。

新鮮なサラダ、魚のグリル、季節の野菜、地元産のワイン…。ニース料理の特徴は、なんと言ってもシンプルでまぶしい太陽の光を感じるところでしょう。アペラシオン (AOP) を認定された丘で収穫されたオリーブオイルなど、地元の食材に誇りを持っています。

郷土料理の伝統を重んじる店の証・ニース観光局認定ラベル「キュイジーヌ・ニサルド Cuisine Nissarde」によって推進されているニース料理は、現在ではフランスの無形文化遺産の一部となっています。30以上の店がこのラベルを獲得しており、みなさまを特別な食体験へ誘います。



© OTM NCA / J.Kelagopian



© OTM NCA



2

日目 鷺の巣村とぶどう畑

マティスが戦時中を過ごしたヴァンスの村（[Vence](#)）と内陸部へ

海を見下ろす高台、バルコン・ダジュール（Balcons d'Azur）に佇むヴァンスの村。パウス山脈を背にして広がるヴァンスは、ニース中心部からわずか40分ほど訪ねることができる必見の観光地です。小さな路地、中世やルネサンスの家々、大小の広場、多くの芸術家の作品を鑑賞できるショップやギャラリーなど、歴史的地区の中心は何世紀にもわたってほとんど変わっていません。観光ルート「マティスの足跡をたどって（Sur les pas de Matisse）」を巡るならば、ヴァンス訪問は欠かせません。

ヴァンスその他の見どころ：

- マティスが設計と装飾を手がけたロザリオ礼拝堂（chapelle du Rosaire）
- 11世紀の建築、シャガールのモザイク画があるフランス最小の大聖堂、近現代美術の一大中心地ヴィルヌーヴ城（château des Villeneuve）のヴァンス美術館（musée de Vence）
- アレクサンドリーヌ邸（villa Alexandrine）のゴンブローヴィッチ美術館（muséal Gombrowicz）

ヴァンスのロザリオ礼拝堂

壮麗なステンドグラスに照らされるロザリオ礼拝堂は、マティスが設計と装飾を手がけました。礼拝堂に隣接する美術館には、マティスによる大量の下絵や、彼がデザインした典礼衣のコレクションが展示されています。

La Chapelle du Rosaire — 466 av Henri Matisse 06140 Vence



© J.Kelagopian



© J.Kelagopian

シャトー・ド・クレマ（[Château de Crémat](#)）で味わうベレのワイン

ワインを語らずして、ニースの美食と生活芸術（アール・ド・ヴィーヴル）を語ることはできません。ワインは地中海文化において常に重要な位置を占めてきました。ニースの丘陵地ベレの畑では優れた赤、ロゼ、白を生産しており、フランスの大都市のうち唯一ニースだけがワインのAOC（1941年認定）を有しています。

シャトー・ド・クレマは、ベレのブドウ畑の中心、ニースの丘陵地に位置する約12ヘクタールのワイン農園です。その地理的条件のおかげで、ぶどうがゆっくりと熟することができる微気候に恵まれています。一年を通して、アルプスから吹き下ろす風と、アンジェ湾から吹き上げる風があります。標高100～350メートルの区画にブドウ畑が広がっていることも特徴のひとつです。

シャトー・ド・クレマで生産されるワインはすべて、有機栽培されたぶどうのみで造られおり、これにより最良の品質を実現と環境の保護を可能にしています。



© OTM NCA / J.Kelagopian

3日目 地中海と庭園



© OTM NCA / J.Kelagopian

海岸線をサイクリング：ニース-ヴィルフランシュ

プロムナード・デ・ザングレ、そしてニースからヴィルフランシュ・シュル・メール (Villefranche-sur-Mer) までの海岸線をお楽しみください。恵まれたロケーションにある海辺の町、ヴィルフランシュ・シュル・メールはコート・ダジュールの主要港のひとつであり、多くのクルーズ船が寄港します。

絵のように美しい小さな漁港には、遊覧船やポワントゥス（伝統的な漁船）の船団もあります。16世紀の城塞とカラフルなファサードのおかげで、ヴィルフランシュ・シュル・メールは画家や芸術家にも人気の場所となっています。

見どころ：

- 錨泊地（びょうはくち）
- 16世紀の城塞
- ヴォルティ美術館（musée Volti）とゲッツ=ブームスター美術館（musée Goetz-Boumeester）
※城塞美術館は数年にわたり休館中。企画展はサン・エルメ礼拝堂（chapelle St Elme）で実施
- 港とそのカラフルなファサード
- ポール・ロワイヤル・ド・ラ・ダルス（Port Royal de la Darse）
- ジャン・コクトーによって装飾されたサン・ピエール礼拝堂（chapelle Saint Pierre）
- サン・ミシェル教会（église Saint Michel）
- 旧市街
- オブスキュール通り（rue Obscure）

© Agence média H265 /
OTM NCA

エズを発見：鷺の巣村、エキゾチックな植物園、香水

中世に歴史を遡る鷺の巣村エズは、さまざまなショップ、職人、ホテル、星付きレストランなどが集まる主要な観光名所のひとつです。

頂上には、中世の要塞の遺跡にエキゾチックな植物園があり、海岸と地中海の素晴らしいパノラマを眺めることができます。

© Agence média H265 /
OTM NCA

エズのエキゾチック植物園は、クリスマス週間以外無休。文化的、歴史的、美的、植物学的な関心から、優れた庭園や公園に贈られるラベル「傑出した庭園（Jardin Remarquable）」を取得しています。

エズ村の香水工房
フラゴナル（Fragonard）とガリマール（Galimard）

どちらの工房でも香水の製造過程を見学することができます。香水づくりの秘密を探しに行きましょう。フラゴナル、ガリマール、ともに無料ガイド付きツアーを毎日開催しています。

見学ツアーの締めくりに訪ねるのは、すべてのフレグランス製品がカウンターに並び、購入することができるサロンです。

香水、オードトワレ、石鹸、キャンドル、ディフューザーはもちろんのこと、化粧品やシャワージェル、ギフトボックスも…贈り物や自分へのご褒美にいかがでしょうか。



© OTM NCA / J.Kelagopian